



🔊) ぼくのわたしの  
未来に伝えたい「十日町市」

50年後、100年後、未来に伝え残していきたい  
十日町市の大切な宝物を紹介します。



市長メッセージ  
ゆっくりの時間

十日町市は日本の原風景といわれる棚田やブナ林などが市内縁辺にあり、せわしなく人が行き交う都会の雑踏の中とはまったく異なる、ゆっくりとした時間の流れがここにあります。ブナ林に足を踏み入れ、棚田を遠くながめると、そこに現代人が忘れてきている安らかな時を感じることができるよう。また、平成12年から3年ごとに開催されている「大地の芸術祭」は、私たちの美しい自然や里山の暮らしと現代アートが見事に調和し、互いに魅力を引き出すことで日本中からもより世界から注目を集めています。自然と調和した里山を舞台とする現代美術の祭典「大地の芸術祭」作品巡りも、ここでできない時間の過ごし方の一つです。

一方、十日町市は、魚沼産コシヒカリをはじめ、そばや地酒などの銘品が数多くあり、おいしさあふれるまちとしても知られています。毎年、人の背丈以上に降り積もる雪が、ミネラル豊かな水を生み出し、その雪解け水が日本一のコメ、魚沼産コシヒカリを生み出します。また、おいしい農産物の生産の陰には、元気なお年寄りや若い人の力も欠かせません。十日町市では選ばれて住み継がれるまちを目指し、子ども医療費助成を県内20市で初めて中学校卒業まで拡大するなど、子育て世代をはじめとした、お年寄りや障がいのある人に優しい街づくりを推進しています。魅力あふれる十日町市にぜひお越しください。



十日町市長

関口 芳史